



大崎町協力隊通信 vol. 23

伊藤剛です。大崎町で竹林整備をしています。その様子を小学校で話して欲しいという依頼があり小学5年生を対象とした総合的な学習の時間でお話しすることになりました。

長野県の小学校に竹の授業があった

竹林整備を小学生が取り組んでいると聞いたのは、昨年の長野県の純国産メンマサミットでのことでした。マイナーですが世の中には幼竹から作るメンマをテーマにしたサミットがありまして、純国産メンマプロジェクトに参加する方たちが一堂に会します。このサミットの事例紹介の中で、総合学習として竹林整備に取り組んでいる小学校があると聞いたのです。これは大崎町でもやれたらいいなと思いました。

大丸小学校で授業

その想いが届いたのかわかりませんが、今年に入って大丸小学校で授業をすることになりました。

7月12日(土) 早速、第一回目の授業となりました。受け持ちは小学5年生の8名です。

そもそも竹って何に使うのだろう、炭って何だろう。それを身近な素材から考える授業とし、昔は使い勝手のよかった竹は忘れられ、今なぜ竹林整備が必要なのか。なぜ地域の課題になっているのか。わかりやすかったかわかりませんが、45分間お話しさせていただきました。



竹灯籠づくりも

後半は、竹灯籠づくりのプログラムを実施しました。竹林整備をしている宮園集落の中野ひとみさんが地域先生として登場です。

どういう竹灯籠のデザインにするか考えてもらい、小さい穴、大きい穴をドリルを駆使して開けていきます。徐々に器具の使い方にも慣れてきます。穴を開け終えたらサンダーで磨き仕上げをして完成です。

児童たちはよく話を聞いてくれて、とっても質問が多かったです。竹林整備は週に何回？ 何人で？ 炭の機械は借りているの？ 竹の食べれるところはどこですか？ 竹は永遠に生えるの？ 北海道に竹はありますか？ etc たくさんの質問責めの中、チャイムが鳴り1回目は終了しました。

総合的な学習の時間は年間18時間あるので、まだまだ先は長いです。児童たちと竹林整備をして炭焼きも実施予定です。

今後もこのような機会を作りたいと考えていますので、お楽しみに。

竹林整備の無煙炭化器は農林振興課で貸し出ししています。使ってみたい方がいらっしゃればお問い合わせください。



大崎町地域おこし協力隊

【お問い合わせ】 農林振興課 林務水産係(内線506) 担当:鶴野、西野 ☎476-1111(平日8:30~17:15まで)